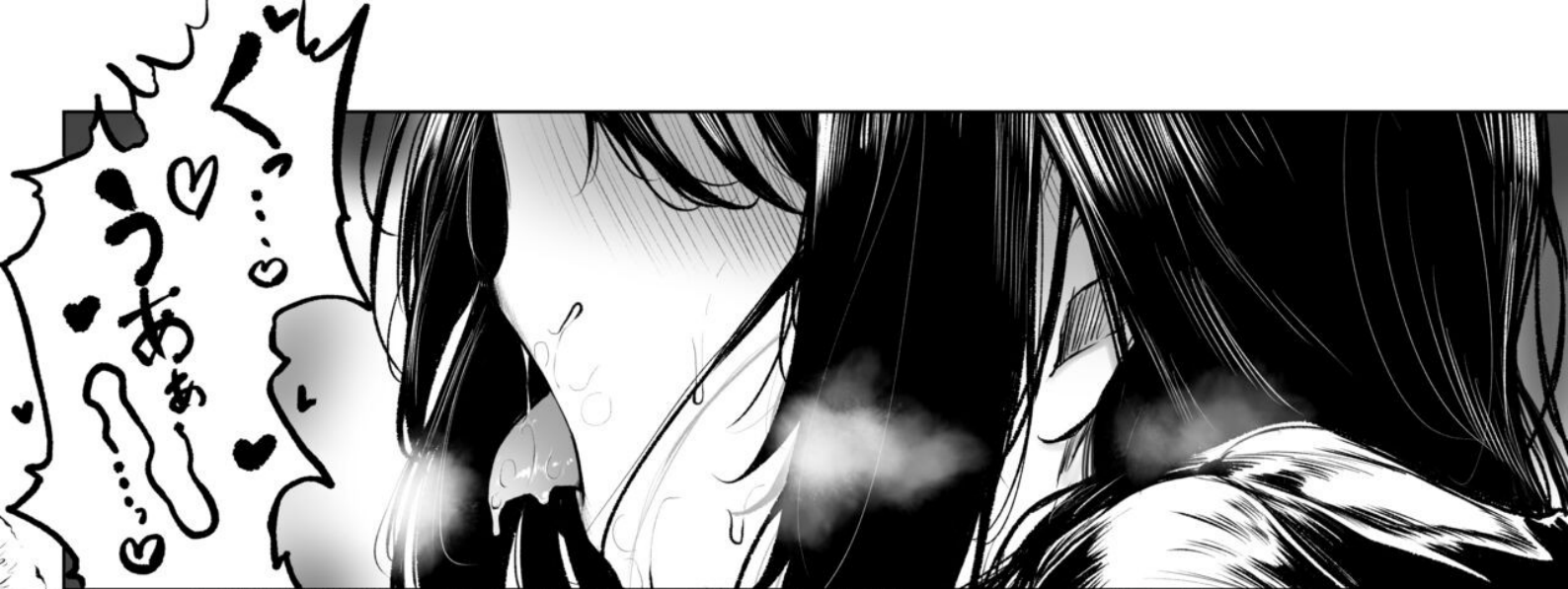




巢へ連れて行かれた私は  
小鬼様たちの  
性奴隷として  
飼われることとなった

人としての誇りは  
消え去り、  
道具以下の扱いをされる



ま、負ける...  
たかが小鬼に...  
私が...?

小鬼の...  
奴隷に.....

ふヒヒヒヒ!  
そろそろイくかあ!?

だ...まれっ♡

嫌だ...だが  
逆らえない...っ  
女である以上...  
このイチモツにはっ

負けっ...♡

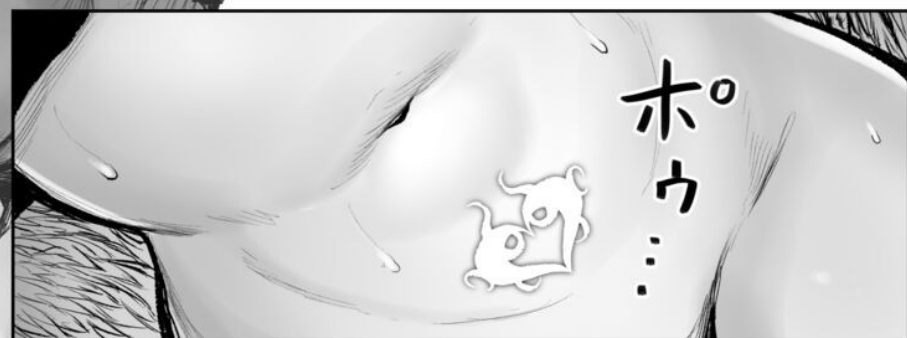




先にイカされたほうが  
奴隷…だったよな？

マヌケな  
女だぜ

テメーから  
言い出したくせによ



ホウ…



おいっ  
とつとと歩け！

ギョッ  
グッ

コキリッ  
コキリッ  
コキリッ

私は敗北した

契約紋の効果により  
私は小鬼様の  
奴隷となった

契約紋により  
私は小鬼様の言うことには  
決して逆らえず  
従うことにこの上ない  
悦びを感じるよう  
改造されてしまった

ぺた……

ぺた……

巢へ連れて行かれた私は  
小鬼様たちの  
性奴隷として  
飼われることとなった

人としての誇りは  
消え去り、  
道具以下の扱いをされる

ぺた……

ぺた……

は……

は……

いくら契約紋といえど  
心を完全に支配できる  
わけではない

小鬼様への  
嫌悪感・憎悪は  
消え去ることなく  
私を支えた



だがそんなものは  
数刻経たずに  
消え去った



今の私には  
もはや契約紋さえ  
必要ない

真に心から  
小鬼様たちに  
忠誠を誓い  
奴隷になれたことを  
至上の悦びと  
考えている

女に生まれて  
良かった...

小鬼様たちの  
かっこいいおちんぼ様に  
囲まれて生きることの  
なんと幸せなことか

それに...  
もしかしたら...  
このまま犯して頂ければ

小鬼様との  
子供を...  
授かれたりして...

いや.....  
それはあまりにも  
夢を見過ぎか...

しかし私も女だ

好きな人との幸せを  
どうしても  
想像してしまう





愛されなくていい

ただ…  
小鬼様に体だけでも  
求めてもらえれば…

私は……  
幸せだ……  
♡